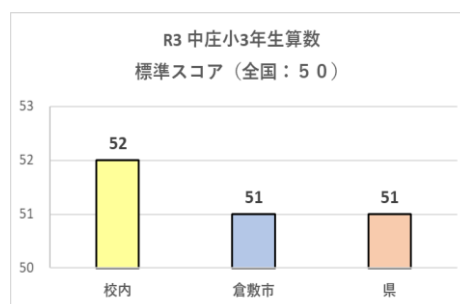
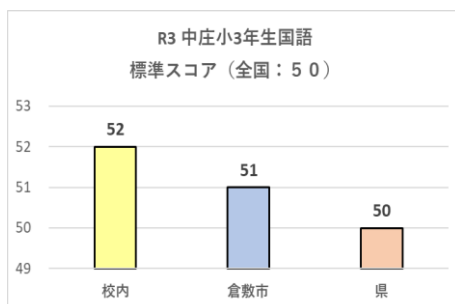


岡山県学力調査（3年生～5年生）の結果のお知らせ

今年度5月末に行われた「岡山県学力調査」の結果が公表されました。今回の学力調査結果をもとに、本校では児童の課題を把握し、これからの学習指導及び生活指導に生かすなど、有効に活用していきたいと考えています。3年生～5年生の結果概要及び全体の傾向は次の通りです。

3年生

	国語	算数
校内 平均正答率	75.2	79.2
市町村 平均正答率	74.2	78.2
県 平均正答率	72.9	76.6
全国 平均正答率	72.1	75.5



今回の結果では、国語科・算数科ともにほぼすべての領域で全国や岡山県の平均正答率や目標値を上回っていました。今後も日々の授業を大切にしながら、児童が自信をもって学習に取り組んでいけるよう支援していきたいと思えます。まだ十分に定着ができていない状況が見られた結果につきましては、今後の課題と捉え、学習指導に生かしていきたいと考えています。

○国語科における課題

- ・漢字を正しく読んだり書いたりすること。
- ・説明文を読み取ること。
- ・話し手が知らせたいことを落とさないように聞くこと。

○算数科における課題

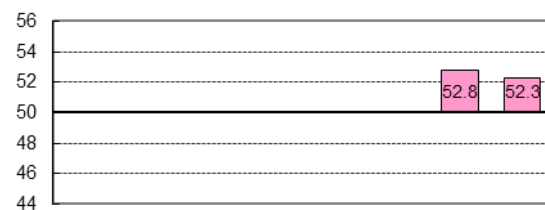
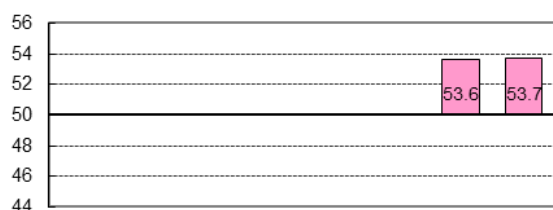
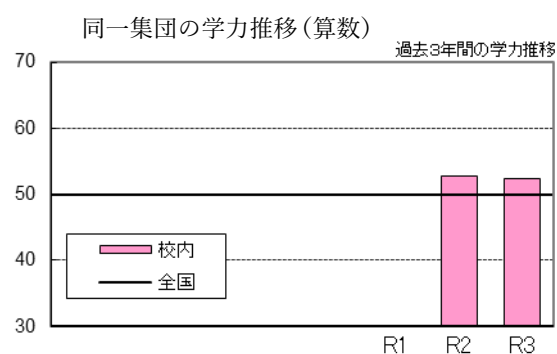
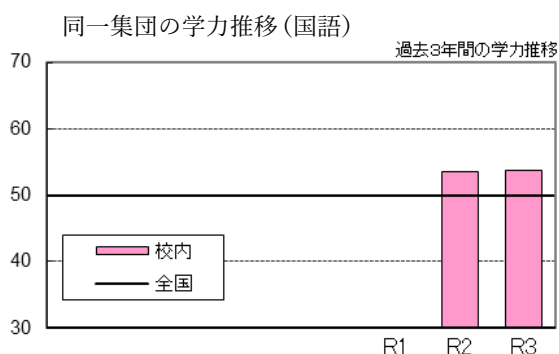
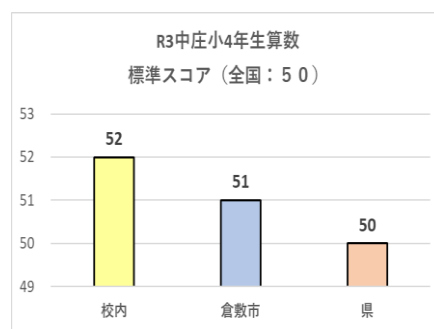
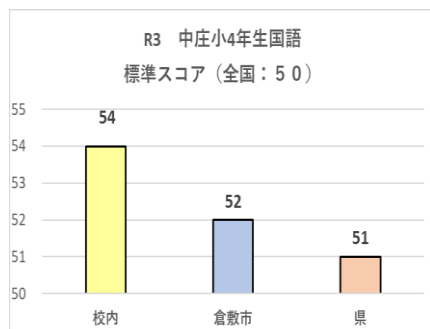
- ・分割分数を正しく理解すること。
- ・数の相対的な大きさを理解すること。

学校としましては、次の二つのことに取り組んでいきます。

- ① 宿題やチャレンジタイムで基本的な内容の反復練習や基本的内容を活用した応用問題を繰り返し行い、学習の基礎となる力を伸ばしていきます。
- ② 平素の授業においては、引き続き学習のめあてや振り返りを授業の始めと終わりに位置付け、児童が学びの成果を実感できるようにします。また、根拠を明確にしながら説明したり、振り返りなど自分の言葉で記述していく機会をさらに充実させたりして、学習の成果が高まっていくように努めます。

4年生

	国語	算数
校内平均正答率	76.8	75.6
市町村平均正答率	72.4	71.9
県平均正答率	71.1	70.1
全国平均正答率	69.3	70.9



今回の結果では、国語科・算数科ともにほぼ全ての領域で全国や岡山県の平均正答率や目標値を上回っていました。今後も日々の授業を大切にしながら、児童が自信をもって学習に取り組んでいけるよう支援していきたいと思います。まだ十分に定着ができていない状況が見られた結果につきましては、今後の課題と捉え、学習指導に生かしていきたいと考えています。

国語科における課題

- ・話し手が伝えたいことの内容を捉えること。
- ・登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えること。

算数科における課題

- ・かけ算やわり算、分数の計算が正確にできること。

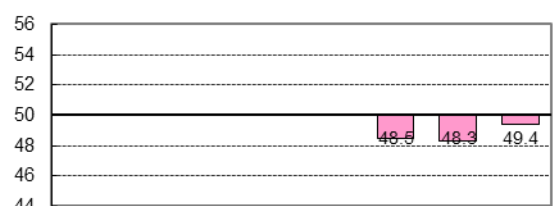
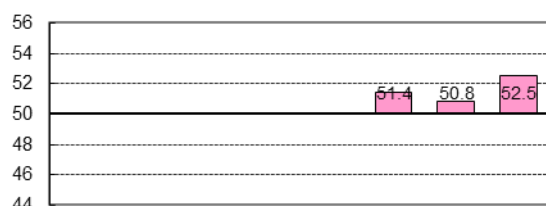
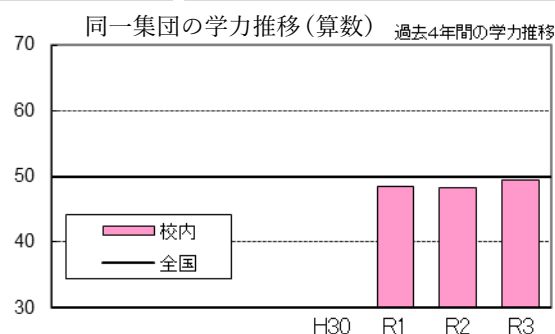
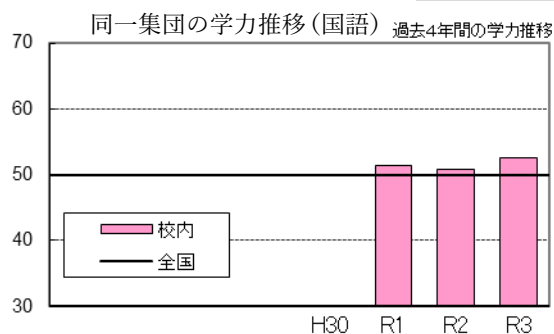
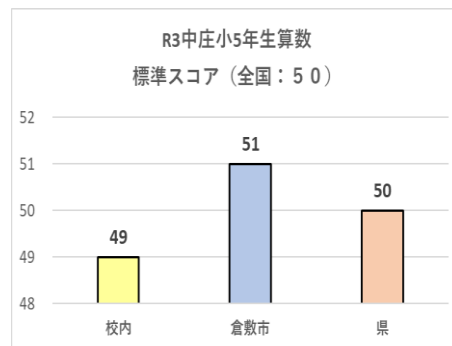
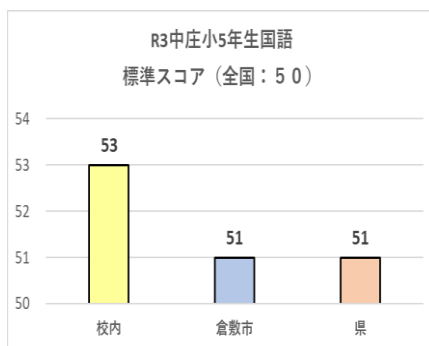
学校としましては、次の二つのことに取り組んでいきます。

- ① 宿題やチャレンジタイムで基本的な内容の反復練習や基本的内容を活用した応用問題を繰り返し行い、学習の基礎となる力を伸ばしていきます。

- ② 平素の授業においては、引き続き学習のめあてや振り返りを授業の始めと終わりに位置付け、児童が学びの成果を実感できるようにします。また、根拠を明確にしながらか説明したり、振り返りなど自分の言葉で記述していく機会をさらに充実させたりして、学習の成果が高まっていくように努めます。

5年生

	国語	算数
校内 平均正答率	72.7	63.9
市町村 平均正答率	70.6	66.5
県 平均正答率	69.4	65.0
全国 平均正答率	67.8	65.3



今回の結果では、国語科では、ほぼ全ての領域で全国や岡山県の平均正答率や目標値を上回っていました。算数科では、基礎的な問題の正答率に課題が見られ、岡山県や倉敷市の平均正答率をやや下回る結果でした。しかし、国語も算数も昨年度、一昨年度からの推移を見ると向上していることがわかります。今後も日々の授業を大切にしながら、児童が自信をもって学習に取り組んでいけるよう支援していきたいと思ひます。まだ十分に定着ができていない状況が見られた結果につきましては、今後の課題と捉え、学習指導に生かしていきたいと考えています。

○国語科における課題

- ・漢字を正しく読んだり書いたりすること。
- ・修飾語を理解し、活用すること。
- ・ことわざの意味を知り、正しく使うこと。

○算数科における課題

- ・様々な分数の大小比較をすること。 ・わり算，小数，分数の計算が正確にできること。
- ・四角形や立体図形の特徴，性質を捉えること。 ・伴って変わる2つの数量の関係を捉えること。

そこで学校としましては，次の二つのことに取り組んでいきます。

- ① 宿題やチャレンジタイムで基本的な内容の反復練習や基本的内容を活用した応用問題を繰り返し行い，学習の基礎となる力を伸ばしていきます。
- ② 平素の授業においては，引き続き学習のめあてや振り返りを授業の始めと終わりに位置付け，児童が学びの成果を実感できるようにします。また，根拠を明確にしながら説明したり，振り返りなど自分の言葉で記述していく機会をさらに充実させたりして，学習の成果が高まっていくように努めます。
- ③ これまでの学年の既習内容の内，今回の調査で課題が判明した事項や内容について，定期的な復習の機会を持ったり，家庭学習で重点的に取り上げたりして定着の向上を図ります。

5年生では「学習状況調査」もありました。いくつか参考となる結果は次のとおりです。

国語の授業の内容はよく分かる。			算数の授業の内容はよく分かる。		
肯定的回答			肯定的回答		
校内	90.3	+5.4	校内	82.7	-1.8
岡山県	84.9		岡山県	84.5	

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていましたか。		
1時間以上		
校内	68.9	-4.6
岡山県	73.5	

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていましたか。		
1時間以上		
校内	57.8	+1
岡山県	56.8	

テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていた。		
肯定的回答		
校内	57.9	-12.4
岡山県	70.3	

- ・学力調査の結果と同様に国語の授業はよく分かり，算数は，率は高いもののやや県平均に比べて少し低いという結果でした。
- ・土日に1時間以上勉強する率は上がり県平均を上回りましたが，平日については県平均より4.6ポイント下回りました。家庭学習の内容等を検討していきます。
- ・テレビやゲームの時間について家庭内の約束ができていない人が少し多いようです。家庭でのルールづくりを進める必要があるようです。